

第一回 総序

REF 創刊号 第3稿 ■ 終わる。

来るべき総会に備え乙着々と準備が進められて創刊号の編集も、いよいよ第3回目の校正を終え、刷り上がりを待つばかりとなりました。ここに創刊号の目次を紹介しましょう。

1. 発刊にあたって (高永会長)
 2. 活動報告 … 分科会、理論研究会、談話会、研修会
 3. 研究報告.
 - (1) 福井市における交通網の変遷
 - (2) 土地利用制御による都市河川底喰川への流域調節試案
 - (3) なぜ今、我々は「住み方」なのか
 4. 研修会報告.
 - (1) 第1次調査団について
 - (2) マニラにおける都市形成と都市交通について
 - (3) フィリピンの港湾配置とマニラ港
 - (4) メトロマニラにおける公園形態
 - (5) フィリピンとメトロマニラの人口構造
 - (6) フィリピンの広域交通体系
 - (7) 熱帯農業としてのフィリピン農業
 - (8) メトロマニラ
 - (9) フィリピン
 - (10) フィリピン
 - (11) 行事記

* * * 第一回 理論研究會報告 *

永らく休会していました理論研究会が、56年5月14日に開催され
第二次テキスト「情報理論の基礎」が終了しました。

当曰は発表者(加藤氏)より、連続型と離散型を比較したエントロピーのリストが提出され、次に、通信容量についての演習問題に全員で取り組みました。ところで情報理論については、多くの論文で取り上げられており、その応用価値も広いことから、次回にはいくつかの適用例を調べてみたいと思います。

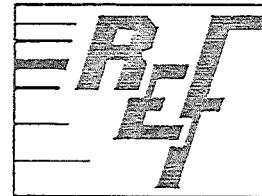
なお、次回（開催日未定）からは、テキストが新しくなります
ので詳細については次号でお知らせします。

なお、表紙デザインは、新入学生会員の中田君(福井大・大学院1年)の手によるものです。御期待下さい。

卷之二

の傘下に入らなかったのである。其本部へは水谷社長の直轄で、本部は新橋に置かれてゐる。水谷社長には福井高重が日本ハムランチの頭目を務め、これが実現するにあたって充実した研究スタッフの配置がなされた。水谷社長は専門会議の委員長である。その内に中野進と山口義久が、新しくチームの監督となり組むこと決意したのであるが、二つのグループで分かれることになった。専門会議は確実である。監督当初から徐々にメンバーの減少は止めたものの、残ったメンバーの数の困難は、更なる研究に熱意を燃やしている。はす「商業分野会」結成の動向も一時停滞したが、最近は皆ひかく人の活動が静止気味である。いすゞにしても、第一期に向かって活潑で、分野会合の数が増りやうである。必勝精神の活躍に期待したい。

卷之三



NEWS

8/JUL/10

第 / / 号

發行

福井地域環境研究会 事務局

RESEARCH GROUP of REGION and ENVIRONMENT in FUKUI

福井市中央3-2-15本町ビル「コミュニティ企画研究所」内

〒910 0776- (25)- 0683

第2期予算表		第1期決算報告	
收入		收入	
会員	12,000 × 26 6,000 × 2	会員	126,000
前期継続	1,820	該正統会員料収入	11,150
	337,820	雑収入	1,235
		未収入(会員)	138,000
支出			276,385
分科会助成費	50,000	支出	
理論研 "	20,000	分科会助成費	30,000
研修会 "	20,000	理論研 "	10,000
談話会 "	20,000	前期総会費	9,673
通信連絡費	5,000	通信連絡費	1,390
旅食費	40,000	雑費	500
移動講師料預立金	130,000	支払金	
雜費	10,000	①報告書印刷	180,000
予備費	32,820	②旅食費	43,000
	337,820	次期会員料	1,822
		合計	276,385

水 水 雜 誌 月 刊 乙 三

*81.6.23 PM 7:00～ 県職員会館 福井医師大 教授今野修平氏
会議はカナダのバーバードで行われ、日本、カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージ
ラント、西ドイツ、トレコ、タイが参加した。テーマは

- ① 大都市圏における中央と地方の政府関係
 - ② 海岸と河口管理 ----- 今野 誠著 発表会
 - ③ 土地利用計画 郡市形態と交通.
 - ④ 改善沿岸

の4つで、会議の進め方は、午前中に報告者が発表、午後に3ヶ国がコメントするといった形で行われた。会場には、Work Shopとして、各國の計画・行政の図面、写真の紹介が行われているほか、更に学習ツリー帳とも企画されている。

①については、外国の権割り（連邦政府、州政府、市町村）に対して日本の縦割りが理解しにくいうつである。②については、米国のコメットの中に、日本の自動車輸出に対する批判が含まれていていた。③については、日本と諸外国で、大都市の競争が異なっている。④については、各国の政治・政黨決定の形が違っている。

日本からは、今野歎後の他、名古屋市の局長、渡米研修中の大阪市職員が参加したが、カナダ・米国からは、市長や議員が参加しており、問題意識の違いを感じた。

会場となったグレーター・バンクードー市は人口120万人の広域行政を行っており、この都市の起源は、110年前、大陸横断鉄道の終点の港町として整備されたことにさる。その後、人口が倍増し現在は、ヨーロッパ系 70%、中国系 10% の比で、日本系は 1% 未満である。この市の特色として緑が豊かでこれが子供原生地を育むに成功したスタンレー公園、都市公園のエリザベス公園、ヨット・ハーバー、海水浴場などがあるが、都心部近くにあり、快適な都市居住環境である。（スライド 多数 紹介あり）

今日の問題点としては次の5つがあげられる。

- ① 地価の高騰
 - ② 州政府がピクトリアにあるため、中飛行機能開発の私産が多く、大手に行つて取り扱うことがある。
 - ③ 員番問題で、警察が裁判に負けた。
 - ④ 旧幹部の再開発が必要。
 - ⑤ 港湾がオーバーして、埠頭が不足しているため、外港の新設が必要。自動車の交通渋滞は、ほとんどないが、港の北部と南部にも結んでいるライン・ブリッジ、1stナローブリッジ、2ndナローブリッジは、ネフツになつていろいろ下だ。広域交通と水の計画、管理については、広域行政の対象となつてあり、フェリー、地下鉄、長距離バスの運用と計画を行つてある。

(文章は底敷担当の間取り)メモによるもので、
（文章は底敷担当の間取り）メモによるもので、

会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金
会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金
会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金
会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金
会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金	会員登録料金

★ 各テーマ別報告（詳しい内容は、R行創刊号参照）

① 公園（長村氏）…マップを使って説明されました。土地観がないために公園を見つけるのに苦労したという話。

② 都市構造（稻葉氏）…メトロマニラの範囲が広すぎるという話。これまで数年後また訪問したいと思うとされ。

③ 人口構造（村松氏）…フィリピンと人マニラの男女比の違いに注目！

④ 河川（加藤氏）…基準が日本よりも高めに定められた結果、河川が自らに引っいた話。

⑤ 電線横断歩道（伊藤氏）…スライド映写が継続力にはつくある。車線に沿って歩道にゼブラがなくなります。

☆ 8 ⑥ 運河（白川橋）…横浜市に注目！

会議と交換した。最後に、本多氏から山梨・秋田の研究について話があり、その後も車線に沿って歩道にゼブラがなくなります。

報長の杉氏本ニ年開午が踏整R昭和年
告のあ談本多テ1か後りみ理E始?F総56
行・本と話村氏研月れ6に始め一會年
な多会松修14ま時第ニされ後6
ミリ同幹岸氏長レシ半ニた今され後6
氏の事本村の17たか回日。う談日月
モレ挨拶司君中村氏報告の今お話こ新各23
ラ会中村氏萬にR回泉会のし分日
・イフに一田匠つE木が頃い科に
ドいよ君広氏いF談会昭活会行
映ぐり氏の田て海話館和す動がな
写の12氏加外会一56がの再わ
が各ま人藤研は〇年、ス編成た第
以テ会と藤氏研は〇年、ス編成た第
下1調葉氏近藤昭号月1ツ人
マ査のし葉氏近藤昭号月1ツ人
よ別田授

第二回 談話会 開催される!!

- New
Address -

- New Face -

村松氏・井牆氏の新住所は、
福井市つぐも二丁目六一六
ハイターナショナルハイツ五〇一号室です
（西野）はあつむせん・アシカラズ

△	竹内成和氏	福井大学工学部建築工学科卒	趣味・ニース
△	東庄輝景	福井県大野工木事務所	趣味・山・写真
△	広部英一氏	金沢大学工学部大学院卒	
△	現任	福井高専助教授	塙本氏の後輩
△	杉本敬一氏	大阪大学工学部環境工学科卒	
△	現任	三和測量計画部	特技・ナックル

* * * 第11回理論研究会報告 * * * 昭和56年8月6日
於：コミュニティー
前回ごお知らせしたとおり第3次テキストとして、K.E.ボーラーディングの「地球社会はどこへ行く」(上)（いさこか映画的妄想のタイトル—児玉氏談）が採用され、当日各自の分担が以下のように決定！（なお都合により児玉氏・加藤氏が欠席）

= 目 次 =		発表者	討論者
1 章	立体映画としての宇宙	辰巳	松川
2 :	物理的動力学と進化	松田	前川
3 :	ポピュレーションの動学	稲葉	本多
4 :	生態学の動学	本田	中田
5 :	生物進化	川多	加藤
6 :	社会進化=一般的パターン	前川	本多
7 :	音迫システム	本多	稻葉
8 :	社会組織装置としての交換	加藤	松川

次回 1981.9.10(木)

速報

分 科 会 だ よ り

新日本は大規模アドバタイジングの競争が最も激しいのが、この「新日本プロレス」である。新日本プロレスは、川村源輔が代表を務める。

8.20に行なわれた第二回談話会が開かれる前に、緊急幹事会が召集され、緑分科会の結成を承認。発起人は、近藤氏、竹内氏、稻葉氏、杉本氏の4名で、福井都市圏みよびそれに隣接する緑地空間について、話し合っていきたいとあります。そのため緑分科会では今、メンバーの大募集を行なっています。連絡は近藤幸次氏（福井県工務部道路建設科、0776-34-1111、内線576）まで、待ってまへす。

8. ワ(金)
コミニティー

家

今回の再編成にあたり、新しく
メンバーとして広田氏(県庁)
が参 加。当日、本行科会では
前回までの活動をふまえた上
で、今回からは、より具体的
な活動を進めることが話し合
われた。その資金は、家族構
造の変化と経済構造の変化
の相互関係を探ろうとするも
ので、その成果が期待される。

8.12 (水)
コミュニケーション
再編成後、本分科会では「鉄の
結束」が改めて認識されたが
今回さらに強力な助っ人として
庄部氏(福井高専)の参加、
フレッシュマン1中田君(福井大1)
のオジャマ活動が承認された。
また、当社今後の活動の基本
方針が以下のように打ち出された

分 科 会	前半
	…水に関する話題 提供
	後半
	…底喰川の具体的な 研究

7. 16 (木)
コミュニケーション
新たなテーマとして越後北線問題を取り上げたためか、あるいは縁分会会結成のお詫びを受けてかメンバー続入者といった観があるが、ともかく新しいスタートを切った（前川氏・大野高教、井橋氏・コミュニケーター、岸本君・福大M1の加入によってお詫びの若返りが許された）。当団は分科会長の性格からか、早くも研究の目次が以下のように決定された。

1. 我国の軌道系交通体系の歴史
2. 福井都市圏における鉄道輸送量の変遷
3. = 開発の動向
4. 起業者線沿線住民の意識・行動実態
5. = 整備構想と輸送需要

次回 未定

次回 8.25(火)

次回 9.30(水)

次回 8.27(木)

6. 5. 4.
 会員幹事
 * 第会計会事關た研のいう会内前修等このつ
 * 二貴に計代誌。先こて提を研号会とヨク。。。。。会の案11修等におがい福雪中サヨマにる。×
 次期讀フ代行の会との案11修等におがい福雪中サヨマにる。×
 回予求い行の件は算書にて件
 手の井第
 10エ発月ツ行
 15ケ月を会行計
 木を承認
 すとの整
 水に理
 *と。
 年。

3. 研
 2. 談 分
 テ話く交科
 1. 会い通会
 のご最が月ともフ知決ロモヰ問國ン候フニ水ン
 概す終出中しふいら定ツレ県題報パロ補いと・バ
 要。決さ旬くれくせさパた産告ウツヒテを往
 をへ定れに山たしれ報が業
 下なはま行梨よま告、連
 にお10しおのうすし区長閑
 記月たて研にた11村分
 し山らがは究月氏析
 て梨日ど会今へラよ
 おにこうと年詳日リ
 き秋行れかの度細に富
 ま田うにと交はは行田
 しのとつい流国次ウ氏

にの一児出にニ承
 報カ玉席コ回認第
 告氏村氏看ミ幹一
 しぐ松へはニ事綠回
 ま氏研ニ会分幹
 す以へ修幹テが科事
 *下總・事イ昭会会
 に務理長1和のへ
 確論のに56承56
 認、研本お年認8.
 長)多いタの20
 決村氏月後
 定氏加へ開3をの
 事(藤交か日受新
 項談氏通れ午け入
 を話一分ま後て会
 廉会水)し6負
 単一分た時第の

第二回幹事会報告

紹介

秋田
 地域成研和
 問題のメ突引
 に有シ基年
 フ志バグよ
 いぐり談り
 くは話秋
 研時形田
 突間秋式大
 の田ぐ学
 許大綱看
 す学ケ水
 限とら助
 り秋れ教
 地田る授
 る建メく結地橋昭
 参。築ンす成城田和
 加ななバる。計氏45
 しおど!活以画
 く広は動後研三
 微少いを10突井花
 力R分法長年の氏岡
 をヤ野律間たら氏
 フのかめがへ
 <モラ経約地の中山
 すツ集済20城ゲバ梨
 トま名をルと大
 1土の考!合学
 は木構えプロ教
 い成良をく授

。。第12回理論研究会報告。。 昭和56年9月10日 於: コミュニティ

新たに、中村氏(三和測量)を加え、総勢9人の全員出席(本多、前川、福葉の3氏はチコク)のもといよいよ臨陣本陣に入る。

第1章の児玉氏の発表のうち、加藤氏が環境における人間の位置付けについて「人間が在してはじめて環境というものが成り立つのであって、人間を無視した環境はあり得ないのではないか?」と軽いジャブを放ったが、「それでよろしいんじゃないでしょうか」と児玉氏にあっさりとかわされる。

次に、第2章の村松氏が、文系出身からか終始「わからない、わからない」を連発しながらも発表を終えると、すかさず加藤氏が「触媒は、ノウハウ、エネルギー、素材のうちどれか、私はエネルギーだと思うのですが?」と切り込んだが、村松氏はっきりと答えられず、中田君が落着いて「ノウハウじゃないでしょうか」と答え、全員の賛同を得ると本人は思っている。また、その中田君から、日本と欧米の自動車レーンの違い(日本は左側、欧米は右側通行)を無視した愚問が出され、みんなの健康的な笑いをささう。ハハハハ。

全体として、「アインシエタイン-ハイゼンベルグ革命」とか、「風呂桶原理」「金巻ちゃん原理」といった欽ドン風原理(名前だけ、内容は高度)が多くあり、本多氏は中でも「金巻ちゃん原理」を気に入った様子! なお、紙面よりも実際の方がおもしろいので、興味のある方はどうぞ参考にして下さい。

次回: 10.22(木)

分科会だより

8.25(火) コミュニケーション	9.11(金) コミュニケーション	8.27(木) コミュニケーション
活動は、9月下旬に行なう予定で、現地、各分科会では、	当日は、勉強会的な意味で、渡辺洋三氏の「高度経済成長と家族構造の変化との相関」についての論文を読みました。また、県別・市町村別の各種データをマップ化した国勢アトラスを読み(眺め)ふけりました。今後、本分科会は、日本における福井県の地域性を見い出そうと、うどく、現在、家族構造と産業構造についてデータ収集・整理へ段階を進めています。	緊密に承認・決定事項があるとのことで、同日臨時分科会が開かれました。まず、加藤、児玉西氏から、7月29-31日に山梨で開かれる「第4回エコ計画学会研究発表会」に、水分科会ではその活動報告を論文にまとめて発表しようということが提案され、これを全員一致(?)で承認。またそれに伴って、今後の活動を、3ヶ月間繰り上げるために、4名ずつ2班の作業グループに分けて活動を行うことを決定しました。第1班: 加藤、塙本、広頬、中田 第2班: 児玉、長村、村松、庄部 班分けは、以上のとおりです。
新入会員	次回: 9.17(木)	次回: 9.30(木)
大募集中!!	なお本紙では、この紙面をにぎわせてくれる活動を期待しております ガシバシテネ!!	次回: 9.25(金)

2. 交歓会の件
前号で紹介したY.R.P(山梨地域計画研究会)との交歓会の内容が決まりましたのでお知らせします。

。会場	昭和56年11月28日(土)午後
。場所	山梨大学1泊2日の予定
。メンバ	一 今月中に決定

第三回幹事会が、昭和56年10月15日午後6時にコミニエニテに於いて開かれました。出席者は、幹事長の本多氏（交通分）・村松氏（総務）・中村氏（住分代行）・井橋氏（会計）・中田君（広報）の5名です。下に承認：決定事項を簡単に報告します。

* * * 第三回 年會報告

* * *

前号でもお知らせしたように、高田氏が第18回国土総合開発海外視察団に参加し、ヨーロッパのオランダ、エジンバラ、イタリア、フランス、イギリスの五ヶ国を視察された時のものもようございます。詳細は以下のように報告いたします。

・日時……昭和56年11月24日(木)

・場所……福井県議員会館二〇五号室

・報告者……福井県理事(都市計画) 岩田副会長

伊太郎氏

分科会だより

9月25日(金)



コ ミ ュ ニ テ ィ -

現在作業が進んでいる交通分科会では、各章担当者より資料が提出され全員で検討しました。

また、10月下旬に行なう予定のアンケート原稿が作成され、実施計画が立てられました。

次回：10月29日(不)



9月30日、10月14日(水)

第五·三醫研修室

前号でもお知らせしたとおり、水分学会では「第4回土木計画学会研究発表会」に論文を発表することになり、その目次と各章の分担が以下のように決定しました。

発表題目「都市河川を考慮した土地利用計画」

1. 流域管理手法導入の背景 (加藤)
 2. 土地利用規制による流出抑制 … 方策の整理 (広吉)
 3. 岩喰川への適用
 - 3-1. 福井市街地と岩喰川流域 … 地域論 (児玉)
 - 3-2. 前提条件 … モデル (広吉)
 - 3-3. 土地利用の変化 (長村・木下)
 - 3-4. 段階規制と抑制効果 (広瀬)
 - 3-5. 従来改修方式との比較 (塙本・加藤) 4. まとめ (中田) ?

次回：11月4日(水)



卷之二

新井 淳氏(41) 墓地画廊
赤ちゃん 御結婚式 水落町4-17
10月16日 横井木田町二丁目
福井市立病院
10月25日 横井木田町二丁目
横井木田町二丁目
10月25日 横井木田町二丁目
横井木田町二丁目
10月25日 横井木田町二丁目
横井木田町二丁目

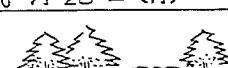
9月17日、10月1日、15日(木)
ユーミュニティー
住分科会では、意欲的な活動(2週間に1度)を行なっていて、家族構造に表

地域性を探るために、次のような二つの方法を用いる。

卷一百一十五

... 妻因分付

次回：11月26日(月)



9月29日^(四) 10月5日^(五) 20日^(六)

平野氏(三和測量)と新入会員の杉原氏を加え、強力な布陣となった緑分科会は、第1回活動で、今後の研究課題とスケジュールの検討を行ない、第2回目では、緑に関する資料の収集とその学習方法等について活発な意見を出し合いました。

終盤の人となった同分科会の活躍を今後、十分期待しよう！

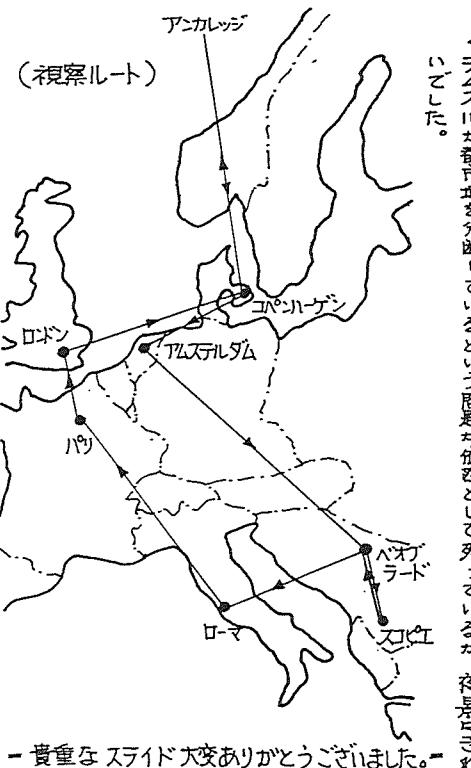
次回：11月16日(月)

'81.NOV.20

第15号 その1.

発行

福井地域環境研究会 事務局
 RESEARCH GROUP of REGION and ENVIRONMENT in FUKUI
 福井市中央3-2-15 本町ビル「コミュニティ企画研究所」内
 テ 910 電 0776-(25)-0683



- 貴重なスライド大変ありがとうございました。-

お詫び
分科会により専集も読んで下さい。

ニューフェイス

同氏は32才で、1月から交通分科会に入る予定です。

株式会社
センボ一建築事務所
仙坊 幸治

取締役次長
一級建築士

福井市順化2丁目24-2
TEL (0776) 代 22-5609
自宅 福井市文京3丁目27-20
TEL 24-5919

第13回理論研究会報告

昭和56年10月22日(木)
コミュニティー

良い子(出席者) 本多・村松・加藤・岸本・中田
悪い子(欠席者) 呂玉…都合によりお休み
普通の子(遅刻者) 稲葉・中村・前川…何故普通の子なのか?

いよいよ授業が始まる。第三章の発表は普通の子稻葉氏であったが、レジメを用意してこなかったということを忘却罪を適用され同氏はいっさくに悪い子に格下げ。話は変っここここは、意味論の偉大な公式「これはあれではない」が単純明解によくわかりました。(オモシロカッタ) また同氏は、ニッチ(生態的地位)という言葉が、ニッチもサッチもわからぬとぼやいていました。(かくいう私もあまりわかっていないのである) なお質問者岸本君がY選択について質問。
第四章は岸本君の発表。生態学的相互作用を7つに類型化(相互協同、寄生、捕食、相互競争、支配-協同的、支配-競争的、相互独立)して説明がなされました。ここではマウソコガネのポピュレーションとか、トラとライオンのポピュレーションを図解してあり比較的わかりやすかった感じがしました。

次回は、11月26日の予定です。

広報担当の中田が都合により(水分科会の作業等で非常に忙しかったものですが、すみません)ニュースの発行が遅れたことを深くお詫び申し上げます。なお今月号は記事が多かったために2ページに増やしましたので、読み時間が長くなると思いますが全部読んで下さい。

- 六 内規について
 - 七 談話会・研修会について
 - 八 次回幹事会(1月)…概要誌の内容等について
- …退会については、半期ごとに未納者に督促状を出し、2年間未納の場合は幹事会の退会の審議対象となる。また休会については、やむを得ない場合幹事会で休会を承認する。
- …長村氏より、次回談話会はサンパウロから研修に参んでいる神山氏の報告を来年1月下旬~2月上旬に行なう予定とのことです。また萬匠氏より、福井臨港・グリーンベルトの見学会を行なってはどうかという意見が出されました。
- …来年4月まで、にまとめREF 第2号発刊!!

第三回 談話会 盛大に開催

前回お知らせいたしました、第三回談話会が昭和56年11月5日午後6時30分から約2時間、福井県職員会館10番号室で開かれました。

今回は福井県計画課課長である萬匠伊太郎氏が「第1回国土総合開発調査團」に副團長として参加した時のことを語っていました。調査團はヨーロッパのオランダ、ヨーロッパ、イタリア、フランス、イギリスの4ヶ国で、そのルートは左図のとおりです。(調査團内容を要約) ごめんなさい。

なお参加者は過去最高の14名で、談話会担当の長村氏が非常に喜んでおりました。(お名前)

参加者の名は以下のとおりです。(敬称略)
・本多・長村・呂玉・村松・広瀬・加藤・中村・前川・広田・稻葉・井幡・山本・梶原・中田。(杉本・島津・西氏はオブザーバー)

第四回 幹事会 報告

第四回幹事会が、昭和56年11月20日(金)午後6時30分にコミュニティーにおいて開かれました。

出席者は、幹事長の本多氏(交通分)・長村氏(談話会)・萬匠氏(住分)・村松氏(総務)・井幡氏(会計)・中田君(広報)の6名で、以下に承認・決定事項を簡単に報告します。

- 一、交歓会の件
…YAPとの交歓会のメンバーが決定。
呂玉氏・稻葉氏(以上県庁)
- 二、本多氏(福井大学)

- 三、村松氏(コミュニティー)
…4氏で、その成果については次号で報告します。
なお、会計の方で検討した結果、宿泊費分の補助がOKとのことです。

- 四、今後のスケジュール
…分科会の研究成果のまとめ

- 五、談話会(富田氏)との交流結果のまとめ
…YAP(山梨)との交流結果のまとめ

- 六、会計処理の件
…会員に対して、REFとしては慶弔費を出資しないことに決定。

- 七、内規について
…幹事会で休会を承認する。



「水分科会、学会へ向けて奮戦中!」

論文の提出期限が、11月28日。ただ今同分科会ではこれに掛かりっきりであります。なにせ同分科会メンバーによる寄せ集めの論文になるので、なかなか全員の足並みがそろわずその調整に四苦八苦している今日この頃です。(発表予定の加藤氏などは、非常にあせっている)。以下にその奮闘の足跡を記してみました。

11月4日(水) 米五郎階研修室

…庄部氏原稿提出。同氏担当の前提条件がREF発表の活動報告と異なるため、それに伴う計算が急務となる。(その大役を中田君が仰せ付けられる。)

11月13日(金) 福井土木事務所

…みんなにこにこ、なかよし作業会(各自電卓を片手に汗を流す。)

11月18日(水) コミュニティー

(これまで提出できるまで26日完成予定)
…各自担当分の原稿を持ち寄る。加藤氏ニッコリ!!

* なお同分科会は、次回の分科会活動を12月23日に行なう予定(論文完成懇親会、忘年会、Xmas旅行を兼ねる。)

= 分科会だより =

11月19日(木) 福井大学交通研究室
(前号では11月16日でしたか
メンバーの都合により変更)

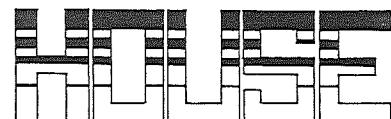
同日全員出席のもと稻葉氏の古巣(3年間根城にしていた)交通研究室で行なわれました。

まず今後の同分科会の方向付けを探ろうということ、稻葉氏が、「住民の意識構造による緑評価に関する一考察」という論文を読んでそれについて発表(なお「緑についての話題提供」は、次回から竹内氏、杉本氏、杉原氏、近藤氏、平野氏の順番で行なわれる予定で、今回はその第1弾)。そして全員が、緑のとらえ方について討論しました。

またそれと並行して緑についてのデータ収集について検討(緑被率のとらえ方をどうするか)。具体的には、福井市の植生現況図・航空写真等をもとに様々な土地利用、例えば、河川(堤防)・道路(街路樹)・公園・樹林・農耕地・宅地その他の緑に関する数値を計量的にどう定義付けするかを検討中!

次回は、12月3日(木)の予定です。

“特集”



10月26日(月) コミュニティー

まえまえから述べてきたように、同分科会では家族構造に表われる地域性を探るために、大正時代から昭和5年までの国勢調査レベルでの世帯人員変化を都道府県別に調べてみようということになりました。またその理由付けとして、家族制度の変化・産業構造の変化をも把握していく方針です。

11月12日(木) コミュニティー

同日は、日本の各都道府県の家族人員の変化の要因について検討しました。

次回は、12月4日(金)の予定です。

「頑張れ住分科会、締切間近!」

精力的な活動を行なっている同分科会。
第2号機関誌の締切が来年の4月頃になる見込みですので、その時に同分科会の素晴らしい成果を期待しております。(庄部より)





六、その他
(1) 昭和57年2月に、今度はYRPのメンバーを
福井に招待することで調整中。
(2) 今回のYRPとの交流会に関して、意見を含
めた詳細な報告は、REF第2号に整理して
掲載の予定。

五、YRPの概要
(1) 昭和46年4月山梨大学教授花岡利幸氏を中心
として設立。現在会員数21名
(2) 構成メンバーは、山梨大学・山梨県庁および
甲府市役所の職員で、民間メンバーはいない。
(3) 分科会活動はなく、全員一体の活動を行なう。
(4) 研究活動は、地方公共団体からの委託研究が
ほとんどで、これまでの実績としては、観光
開発計画にウエートが置かれている。
(5) また、積極的に地域住民との交流に取り組む。
(6) 運営費は、委託研究費からまかなわれている。

四、次第
(1) 面代表挨拶
(2) YRPおよびREF概要紹介
(3) 甲府市および福井市概要紹介
(4) 質疑および意見交換

三、参加者：
REF(本多氏・村松氏・児玉氏・稻葉氏)
YRP(花岡氏・橋田氏・三井氏・深沢氏)
竜口氏(ら多數)
そしてREFの顧問である今野氏がわざわざ
王子から駆け付けて下さいました。

二、場所：山梨大学工学部環境整備工学科花岡研究室
一、日時：昭和56年11月28日(土)午後3時

YRP山梨地域計画研究会 交流会・報告

第四次理論研 テキスト決定

頭の構造がちょっと狂いぎみかげんの第三次テキストが終り、次回からは本多氏の推薦による「環境経済学入門=経済成長と環境破壊=」(ポール・W・バークレイ、デビット・W・セクター共著)を第四次テキストとして採用することになりました。各自の分担等は、年が明けた次の1月26日(火)に決め、本書の内容とも合わせて詳しいことは次号に掲載予定です。

* * * 理論研究会報告 * * *

第14回

昭和56年11月26日(木)

コミュニティ

出席者…本多・村松・加藤・岸本・中田・前川(遅刻) 欠席者…児玉・中村・稻葉

いつもより出席者が少なく文字どうり顔をつき合わせての理論研となる。テキストも中盤に入り、第5章(生物進化)を中田君が、第6章(社会進化)を社会の先生(大野高)の前川氏がレジメを用意し発表。特に、前川氏の説明が良かったのではないかと思います。(高校の時、中田君は生物が得意だったのに)

第15回

昭和56年12月23日(水)

コミュニティ

出席者…本多・村松・加藤・児玉・中村(早退)・岸本・中田・前川(遅刻) 欠席者…稻葉

理論研・水分科会合同の忘年会を行なうことになったため、持ち時間が通常の半分の1時間と短くなり各章担当者は、平易かつ迅速な発表を強いられる。しかし第7章(脅迫システム)について中村氏が、最後の第8章(社会組織装置としての交換)については加藤氏がうまくまとめて発表。

分 科 会 だ よ り

12月7日(月)
福井大学交通研究室

今日は、竹内氏が「生態学的に
みた緑の効用」について発表。

12月25日(金)
福井大学交通研究室

この日は、杉本氏が「オープン
スペースの定義」について発表。
また、全員で緑の評価方法につ
いて検討。

次回は、1月11日の予定ですが、
同分科会では新年会も兼ねて、
1月23日に1泊の予定で強化合
宿を行なうとのことです。(ガ
ンバッテクダサイネ!)

12月4日(金)
12月17日(木)
ユーミュニティ

地道な活動を行なっている同分
科会は、現在一貫して、1世帯
当り人員変化と他の産業系指標
文化系指標との関係を探ってい
るわけですが、その作業もそろ
そろ終え、次回までに結果をな
んばか出し、次回にそれを持ち
寄り、全員で検討していく方針
とのことです。

次回は、1月14日(木)の予定です。

12月23日(水)
久喜津屋

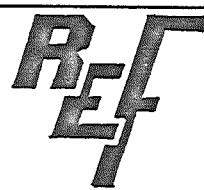
今日は論文完成慰労会を兼ねて
忘年会を盛大にパーッとやろう
と計画を立てていたところ、「理
論研といっしょにやんない」と
いうことになり、総勢11名の大
忘年会となる。これといった活
動を行なっておらず、全員顔を
合わせるのはほぼ1ヶ月ぶり。
なかなか楽しい会話が飛びかい、
新しい年に向けて英気を養った
たいへん有意気な一日でした。
(中には忘年会続きでグロッキ
ーぎみの人もいましたが。)

次回の活動は、忘年会のドサク
サにまぎれて決まりず未定!!

12月18日(金)
大野市内の扇屋

「越美北線を語るにはまず越美
北線に乗らなければならない。」
ということで今回大野で合宿を行
なったわけですが、さすがに
大野は寒く、夜歩くのに大変苦
労したそうです。(数々のエビ
ソードが生まれたとか?)
さて同分科会では、そろそろま
とめの段階に入り、以下のよう
に原稿の分担が決まりました。

第1章(前川氏)
第2章(井幡氏) 次回は、1
月に行な
第3章(杉森氏) う予定です。
第4章(岸本君)
第5章(本多氏)



NEWS

'82 FEB. 10

第17号・1.2月合併号

発行

福井地域環境研究会 事務局
RESEARCH GROUP of REGION and ENVIRONMENT in FUKUI
福井市中央 3-2-15 本町ビル「コミュニティ企画研究所」内
〒910 ☎ 0776-(25)-0683

速報 YRP来県

前号でもお知らせしたように、YRPの来県が、
2月12日(金)～14日(日)に決まりました。12日夜に
は、YRPとREFとの交流を兼ねて歓迎会を行ない、
13日は県内を見学する予定になつています。
(2月8日(木)臨時幹事会より)

- 五 …… 前号でもお知らせいたしましたように、YRPの来県が、
2月12日(金)～14日(日)に決まりました。12日夜に
は、YRPとREFとの交流を兼ねて歓迎会を行ない、
13日は県内を見学する予定になつています。
(2月8日(木)臨時幹事会より)
- 四 …… まだ会費未納の方がかなりいます。お心当たりの方は早
急に納入して下さい。
- 三 …… 次回の研修会は、ワカツアーフェイス参考。
研修会について
- 二 …… 新入会員の承認
- 一 …… 詳しいことはワカツアーフェイス参照。
- 会計報告
- 総会について
- 第三回総会は、6月5日(土)に開催予定。

第五回幹事会が、昭和57年1月26日(火)午後6時にコミュニティにおいて開かれました。出席者は幹事長の本多氏(交通分)、長村氏(談話会)、萬匠氏(住分)、児玉氏(研修会)、加藤氏(水分)、村松氏(総務)、稲葉氏(緑分)、中田君(広報)の8名で、以下に承認・決定事項を簡単に報告します。

一 機関誌第二号編集方針

- …先にREF第二号の発刊について少しお知らせしましたが、締切日は4月15日(次回幹事会)に決め、内容については以下のものを掲載予定。
- (交) … 越美北線沿線整備計画
- (水) … 底喰川パートⅡ「完結編」
- (住) … タイトル未定・ただし完結の予定
- (緑) … 方向については暗中模索なので、今までの活動内容の報告
- (研) … YRPとの交歓会報告
- (談) … 富田副会長のヨーロッパ視察報告
- (理) … テキストの紹介・活動内容報告
- その他、新しい名簿・規約・ニュースなど

第五回幹事会報告

* 第16回理論研究会報告 *

前号でもお知らせしたように第16回テキストとして、「環境経済学入門」が採用され、推薦者の本多氏が第1章の「発展が導いた問題」について発表。それに続き各自分の分担を以下のように決定。また新たに長村氏、杉本氏が参加し総勢11名の大所帯に!

■ 日次

13章	12章	11章	10章	9章	8章	7章	6章	5章	4章	3章	2章
環境管理の戦略と戦術	経済成長と環境破壊	保全の論理	市場機能の欠如	市場機能の欠如	市場機能の欠如	市場機構による方法	経済分析の二つの道具	経済成長と環境	生産量「生活の質」	経済成長の意味	経済成長と環境
佐藤氏	前川氏	児玉氏	中田君	岸本君	村松君	稲葉君	杉本君	本多君	長村君	前川君	児玉君
佐藤氏	前川君	児玉君	中田君	岸本君	村松君	稲葉君	杉本君	本多君	長村君	前川君	児玉君
佐藤氏	前川君	児玉君	中田君	岸本君	村松君	稲葉君	杉本君	本多君	長村君	前川君	児玉君

1月26日(火)
コミニティ

NEW FACE

第4回土木計画学会発表会報告

発表は1月31日(日)の午後1時10分に開始。発表時間が20分間あるというので加藤氏は余裕を持って最初にREFの紹介を行なう。豊富な経験をいかして発表をスムーズに終えた後、批評者の佐藤氏(北海道大学)から以下のようないい質問が出される。が、加藤氏はすかさず括弧内のように応答。

- ① 現在と将来の市街化区域と調整区域が変わっていないのはなぜか?(行政側では、妥当の結論)
- ② 道路面積が変わっていないのはなぜか?
(面開発を行なっているので、道路等は既成されている)
- ③ その他の比較尺度について(景観等)
なお、その佐藤氏からREFの活動に賛賛の弁をいただいたことも最後に記しておきます。

小林 登志夫氏(34才)
住所: 福井市春山2丁目17-14
勤務: 福井県総江工木事務所
★ 同氏は住分科会に入会。
@ 0776-29-7371

分科会だより

1月11日(月)
1月25日(月)
福井大学交通研究室

1月11日は、杉原氏が、同25日は近藤氏が話題提供。そして具体的な作業として、福井新聞社が撮った航空写真から、緑量・緑の種類を福井市の250mメッシュにおとすことを決定!

2月6・7日(土日)
福井工木事務所・高須

2月6日の午後から作業会を行ない、それから高須で新年会を兼ねて合宿を行なう。

次回は、2月18日(木)の予定です。

1月14日(木)…新年会
1月28日(木)
2月5日(金)
コミュニケーション

同分科会は、1月28日にREF第2号へ向けての作業打合せ会を行ない、以下のような事項を中心として報告をまとめることに決定。

1. 家族をめぐる住み方の実情
 2. 1を時系列的に把握
 3. 1を地域性からめて考察
- そしてつきの2月5日には、上記についての作業会を行ないました。

次回は、2月18日(木)の予定です。

1月27日(水)
コミュニケーション

論文発表を間近に控えた同日、最後の打合せ会を行なう。その内容は、仮想質問を出して、それに発表者の加藤氏が答えるという方式をとり、発表に際し万全の構えを整える。なお同分科会からは、発表者の加藤氏のほか、連名者の児玉・高部の両氏、さらに中田君が参加(詳しい内容は上記報告を参照のこと)。次回は、土木計画学会発表会の報告を行ない、さらに高部氏が、地下水についての話題を提供する予定。

次回は、2月24日(水)の予定です。

1月19日(火)
コミュニケーション

いよいよ佳境に入った同分科会は当日、各章の担当者が、どういうことに焦点を置いてまとめていくかを草案として提出し、それについて全員で検討を行なった。(前川氏は、雪のため到着がかなり遅れる)。次回は、さらに詳細な議論を加えて、3月20日を目指し原稿をまとめていく予定。なお、今回から新しい戦力として、仙坊氏、山本氏の両氏が加わり、さらに充実した活動が期待される。

次回は、2月25日(木)の予定です。

REF 制作委員会(敬称略)…室永・富田・本多・長村
 前川・猪葉・山本・村松・岸本・中田

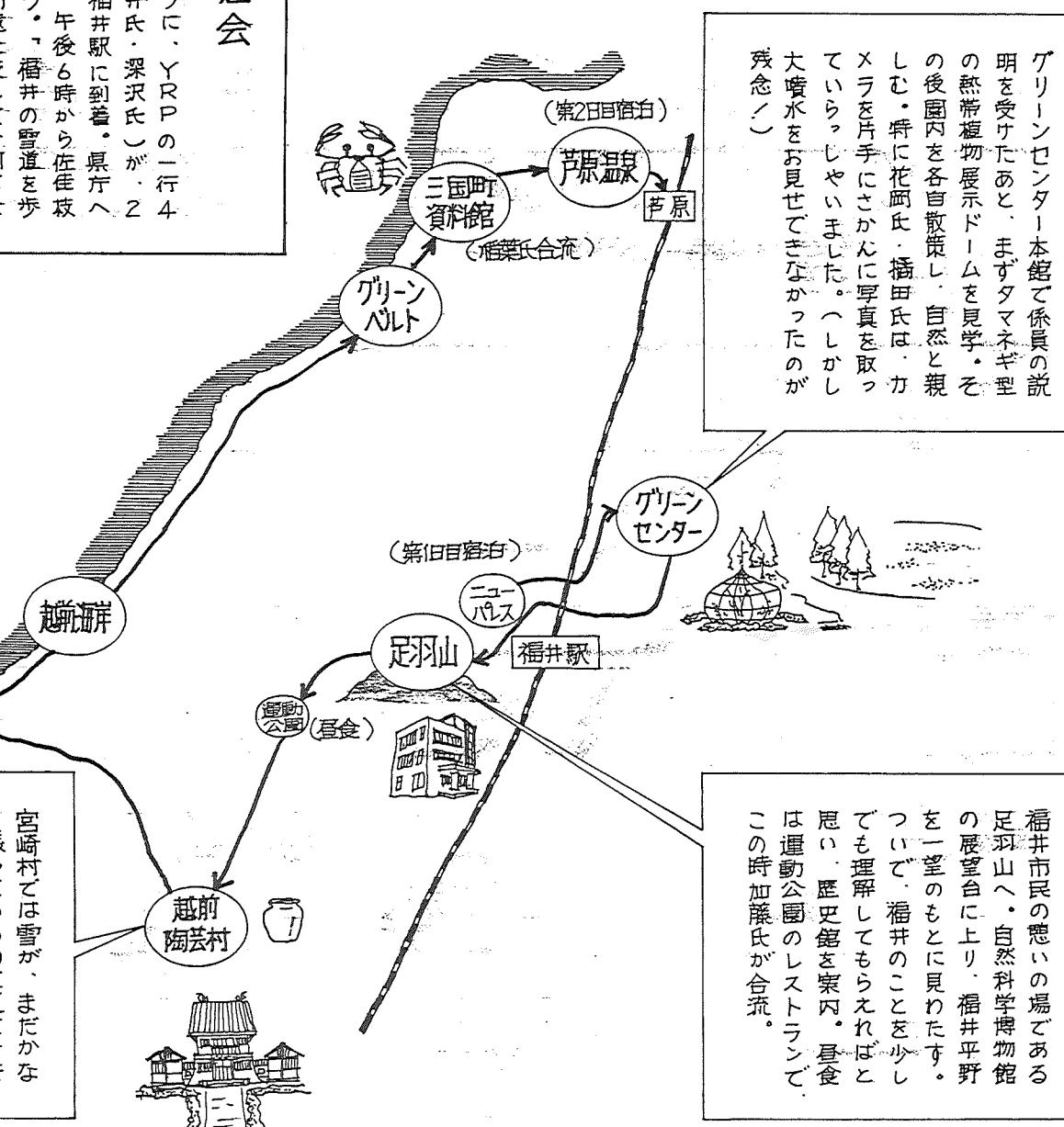
前号でもお知らせしたように、YRP の一行 4 名(花岡氏・橋田氏・向井氏・深沢氏)が、2 月 12 日(金)午後 4 時すぎに福井駅に到着。県庁へ富田副会長を尋ねたあと、午後 6 時から佐佳枝亭において歓迎会を行なう。橋井の雪道を歩かせたい」という本多氏の意に反して、同日は快晴に近い天気であったので、山本氏の「雪についてのレポート」もかすみがち、しかし花岡氏らは「雪にかなり興味を持たれたようだ」と評め交わしながらの質問攻勢! 最後には武田節といつちより節の大合唱もあり、終始なごやかな雰囲気で一次会を終え、甲州ワイン(REFへのおみやげ)を全部飲んだ二次会へ

YRP 歓迎会

YRP 福井視察マップ 2月13日(土)

案内人…本多・長村・児玉・加藤・村松・猪葉
 岸本・中田

グリーンセンター本館で係員の説明を受けたあと、まずタマネギ型の熱帯植物展示ドームを見学。その後園内を各自散策し、自然と親しむ。特に花岡氏・橋田氏は、力メラを片手にさかんに写真を取つていら、しゃいました。(しかし大噴水をお見せできなかつたのが残念!)



福井市民の憩いの場である足羽山へ・自然科学博物館の展望台に上り・福井平野を一望のもとに見わたす。ついで、福井のことを少しでも理解してもらえばと思ひ、歴史館を案内。昼食は運動公園のレストランで、この時加藤氏が合流。

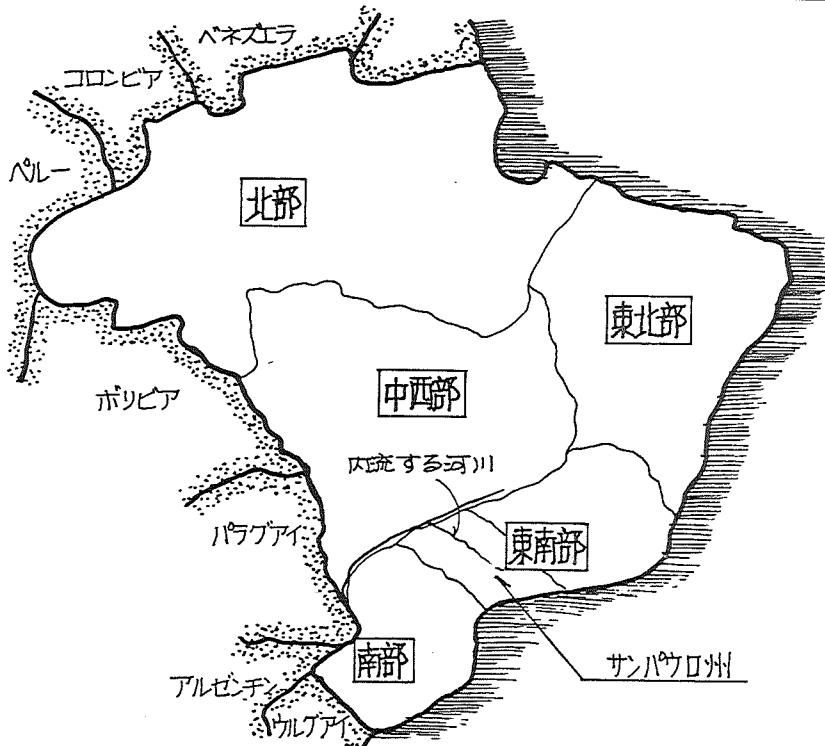
宮崎村では雪が、まだかなり残っているのを見て一行驚きの声! 前陶芸館長の案内で、越前焼を鑑賞。その素朴な美しさと村づくりの苦労話に感心された様子で、さかんに質問をされていました。なお都合により本多氏・村松氏・岸本君・中田君の4名は、一行と別れ武生駅へ向かう。

ついで新入会員の動向も気になるところである。福井大学大学院の美井君は村松氏の熱い説明から土地利用分科会へ加入が濃厚であり、緑分科会は北本君へ触手をのばしている模様。本多氏は同大学講師の福井氏をひきこむ様子である。

最後に、これは単なるウワサの域を出ないが、わが広報部情報局がキャラクチしたところによると、大幅な役員人事の移動があるようである。これは、新分科会の結成により、児玉氏が専門(理論研・研修会・分科会長)を担当することになるため、行なわれるものであり、異例の新人抜てきも考えられる。

なお「地方都市分科会」の結成も一時話題を集めたが、直任なりダーダーがみうけられないで、今回見送られるようである。

第四回 談話会 開催!



前号でもお知らせしたように、第五回談話会が昭和6年4月9日㈫午後6時30分から約2時間、福井県職員会館205号室で開かれました。

今回は、現在武生市家ス幸化センターに、ブラジルのサンパウロからおみえになつてゐる山田氏に、サンパウロ紹介と題してレポートをお願いしました。

(参加者)…本多・長村・村松・加藤・坂本・山本・杉森・
杉原・井権・岸本・中田・またオブザーバーとして
井上氏が出席されました。

まず、ブラジルの一般事務についての説明がある。インフレがひどくて公衆電話に専用のコインが必要であるとか、貧富の差が激しい等といつたことは、かなり日本と異なつてゐるという感じがした。(ピンとこない感じがする)。

ついでスライドも交えてサンパウロの紹介があつたわけだが、河川が内流するといつのには驚いたし、サンパウロがかなり高い所にある(海拔800m)といつのにもびっくりした。

告知板

* 会費納入月間へ向けて

会計からのお知らせ…4月は会費納入月間としますので未納の方はごくるだけ早く納入して下さい。

ただ今、同分科会ではメンバーや大募集しています。詳しいことは発起人の児玉氏まで。

* 土地利用分科会(仮称) 全員集合へ

第1回 2月23日(火) コミュニティー
出席者…本多・長村・児玉・加藤・前川・
杉本・稻葉・岸本・中田

第2章は稻葉氏の発表。加藤氏のハンセンについての質問(本文25ページ)に対し、同氏はあまりよくわからないと申し開き。そこで登場したのが名探偵の前川氏。難解な事件を明解に推理するように、質問に答える。

ついで第3章の中村氏の発表のあと、本多氏が、「スカイライン等は、自然破壊の割には利便性がないでは?」と質問。これは、ある意味では万人の平等性に基づくものであると加藤氏が応答。(今回も激しい質問合戦を展開したね~)

理論研究会報告

第18回 3月23日(火) コミュニティー

出席者…本多・村松・加藤・前川・岸本・
中田・(オブザーバー: 山田)

第4章担当の村松氏が、思い違いをしていてレジメを用意してこなかつたので次回に、順延。第5章の加藤氏は、わかりやすいレジメを用意。少ない出席者ではあつたが、パレート最適について火花の飛び散る論議が展開された。また前川氏は専門分野の強みからか、専門用語が次々に出てきて博識などところを見せる。(今回、出席者が最低でした。メンバーは必ず出席のこと!)

次回は、4月27日(火)の予定です。

分 科 会 だ よ り

2月18日(木)
2月22日(月)
3月1日(月)
3月8日(月)
3月15日(月)
3月23日(火)

福井大学交通研究室

用途地域別に代表地区を十数ヶ所選び、それについて縁率を割り出す作業を今回で終え次回からは、これらをその面積ともかみ合わせて検討していく方針である。それにしても週1回の割での作業、たいへんご苦労様です。報告が非常にたのしみです。

次回は、3月29日(月)の予定です。

2月18日(木)
2月23日(火)
3月4日(木)
3月16日(火)

コミュニティー

前号でもお知らせしたように、同分科会では急ピッチな活動が行なわれているわけですが、今回は、家族をめぐる住み方の実情とその特徴的な把握について、まとめと原稿書きを行いました。次回からはそれを地域性とからめて考察することと全体のまとめに入していく予定である。

次回は、3月26日(金)の予定です。

2月24日(水)
コミュニティー

この日の活動のメインである広部氏が欠席されたので、急きよ話題を今後の水分科会活動に変え意見交換。その結果、加藤・長村・広部・広瀬・中田の5名は残留の見込み。

3月17日(木)
コミュニティー

広部氏が、高専との成果発表と地下水についての話題提供。一同その成果に感じし、追加版として報告に載せることに決定!

次回は、4月14日(水)の予定です。

2月25日(木)
3月25日(木)

福井大学交通研究室

2月25日は、福井大学の大岡君がOHPを使っての卒論成果報告。各章担当者の中で一部遅れぎみの人もありますがほぼ順調な活動を行なっている同分科会です。また3月25日は原稿の読み合わせをし、最後の調整といったところである。

なお同分科会は次回からテーマを“連続立体交差化”に決定しその方針を検討する予定だそうです。

次回は、4月28日(水)の予定です。